

会長あいさつ (S58, 11, 6総会あいさつより)

会長 漆畑 豊 (E1)

私達の沼津高専同窓会は本年で16年目を迎え、母校では創立20周年が祝われました(57, 11) 会員数は2500余名の大きさ 伝えるに至り、“同窓会”も1つの節目を向えたと考えます。

この機に今一度“同窓会”の意義を見つめ直してみると、同窓会設立趣意書(S42, 3, 20)に『我々オ1回卒業生は、卒業とともに、西に東に袂を分ち、それぞれの人生の道を進むわけであるが5年の歳月、共に学んだ機縁は一生にわたり消えることはない。また今後毎年3月には後輩が続々と我々の後につづいて、この学舎を巣立っていくのであるから、沼津高専全卒業生の団結をはかり、相互の間、また母校との連絡のとれる体制が必要である。ここにオ1回卒業生の責務として卒業と同時に同窓会を設立し、来年度以降毎年卒業する後輩に参加を要請する次第である』

今日、会の運営に対する1つのレールが敷かれ、組織として動けるのも、先の各役員、理事諸氏の責務からのたゆまぬ活動のおかげである。幸い母校創立20周年を記念し、同窓会名簿の追補、訂正を行ない、新同窓会名簿(1983)度版の発行できたことで、我々の役員理事の責務からくる責任をたせたと考えております。編集に際し、名簿編集委員長の小川君(E5)及び各編集委員の努力と、印刷、製本、校正に多大な協力をいただいた、J.C.の小池君(M1)に厚くお礼申し上げます。

さて、この名簿をもって、次期役員に引き継ぐわけであるが、一般会員の皆様に先の同窓会の意義を再度認識していただき、会や、各理事から皆様に対する各種の依頼や問い合わせ等に対しては積極的に協力し、又、会費の納入や住所、勤務先の連絡等、会員としての義務は確実に履行されるようお願いしたいと思います。この事が、今後の会の運営をスムーズに運ぶオ1の条件と考えます。

中でM1の浜田君、鈴木君、E1伊藤君、それにM2、M3の高野君、塩川君をはじめとする東京地区在住の諸氏の尽力により、「沼津高専同窓会東京支部」が発足(S58, 7, 3)された事は、今後の沼津高専同窓会としては意義深いものと思えます。

先に発足した愛知支部、浜松支部をはじめ、大阪地区、九州四国地区も、ぜひこの東京支部に続き、各支部の再構築と、発足を要請いたします。支部発足に際しては本部も、最大限の協力を致しますのでぜひ一報くささるようお願い致します。

又先の、母校創立20周年記念の共催にあたり、同窓会寄拠募金に応じ拠金いただきました各員各位に厚くお礼申し上げます。目標金額をはるかに越え、沼津高専同窓会の力ここにあり!!の感をあらためて強くいたしました。

終りにあたり、学校の先生方、事務の方々には平素より沼津高専同窓会に種々御協力と御理解をいただきありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

会員各位の今後益々の活躍を祈念し、おわりのあいさつといたします。



総 会 報 告

事務長 小瀬 仁 (C8)

昭和58年11月6日(日)母校寮食堂において、昭和58年度同窓会総会が行われました。

同窓生134名に加え来賓・教職員の方々に御出席をいただき、総勢約150名になりました。

正午すぎ仁科前会長(M2)の司会による開会の辞で始まり、引き続き漆畑会長(E1)のあいさつのおと、議長団には議長小泉(M5) 副議長諏訪部(E9) 書記鈴木(E16)が選出され議事に入りました。

まず漆畑会長より昭和56年度、57年度の事業報告、事務長より昭和56年度、57年度の決算報告の後鈴木恒男監事(E1)より会計監査報告がありました。

質疑応答のち昭和56年度、57年度の決算報告は承認されました。

続きまして会長より昭和58年度活動方針及び中間事業報告があり、事務長より昭和58年度予算案が提案され承認されました。

次に、審議に移り金田副会長(M2)より諸物価の上昇・2500名にのぼる同窓生に対する郵便物の値上げ等による当期剰余金の赤字化を理由に終身会費の値上げ問題が提出され、出席された同窓生の御理解をいただき1万円から1万5千円への値上げが承認されました。

その後、次期三役の承認に入り会長に柘植宗康(M3)、副会長に久保田悦郎(M15)、事務長に工藤勝次(C9)が承認され、新三役の挨拶の後、議事はすべて終了し、議長団は解任されました。

引き続き懇親会が開かれ、来賓・教職員の方々にスピーチなどをいただき、旧交をあたためる楽しい歓談の一時をすごすことができました。

最後に理事をはじめとし、顧問教官、職員の皆様御協力ありがとうございました。

昭和56年度運営会計経費収支決算報告書

拠出収入(昭和56年4月1日~昭和57年3月31日)

科目	決算額	予算額	比較
終身会費	1,440,000	1,440,000	0
受取利息	114,392	150,000	△ 35,608
雑収入	22,290	1,000	21,290
合計	1,576,682	1,591,000	△ 14,318

経費支出

科目	決算額	予算額	比較
会議費	318,688	250,000	△ 68,688
通信費	383,645	400,000	16,355
事務用品費	25,540	30,000	4,460
慶弔費	44,000	100,000	56,000
同窓会だより	158,000	100,000	△ 58,000
印刷費	109,400	100,000	△ 9,400
郵便振替料	15,210	15,000	△ 210
支部交付金	0	150,000	150,000
旅費交通費	0	0	0
減価償却費	1,507	1,000	△ 507
総会懇親会特別会計	50,000	50,000	0
雑費	25,720	100,000	74,280
予備費	0	295,000	
当期剰余金	444,972	0	△ 149,972
合計	1,576,682	1,591,000	14,318

昭和56年度貸借対照表(昭和57年3月1日現在)

資産の部		負債の部	
現金	65,668	前受金	1,380,000
郵便振替	496,440	仮受金	264,000
郵便貯金	3,000,000	什器備品基金	11,991
銀行普通預金	2,699,087	減価償却引当金	26,509
銀行定期預金	3,129,320	20周年拠金	1,943,000
未収金	3,550,000	未収金	3,550,000
仮払金	50,000	剰余金引当金	5,827,006
什器備品	11,991		
合計	13,002,506	合計	13,002,506

昭和57年度運営会計経費収支決算報告書

拠出収入(昭和57年4月1日~昭和58年3月31日)

科目	決算額	予算額	比較
終身会費	1,500,000	1,500,000	0
受取利息	269,111	200,000	69,111
雑収入	34,450	1,000	33,450
合計	1,803,561	1,701,000	102,561

経費支出

科目	決算額	予算額	比較
会議費	305,914	300,000	△ 5,914
通信費	376,270	400,000	23,730
事務用品費	58,000	50,000	△ 8,000
慶弔費	96,645	100,000	3,355
印刷費	175,790	200,000	24,210
郵便振替料	15,560	15,000	△ 560
支部交付金	50,000	150,000	100,000
名簿調査費	600,000	600,000	0
旅費交通費	70,800	50,000	△ 20,800
減価償却費	1,338	1,000	△ 338
総会懇親会特別会計	50,000	50,000	0
雑費	18,990	50,000	31,010
予備費	0	0	
当期剰余金	△ 15,746	△ 265,000	△ 249,254
合計	1,803,561	1,701,000	△ 102,561

昭和57年度貸借対照表(昭和58年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
現金	115,602	前受金	1,560,000
郵便振替	100,880	什器備品基金	10,653
郵便貯金	3,000,000	減価償却引当金	27,847
銀行普通預金	909,625	20周年拠金	1,947,000
銀行定期預金	5,500,000	未収金	3,220,000
未収金	3,220,000	剰余金引当金	6,141,260
仮払金	50,000		
什器備品	10,653		
合計	12,906,760	合計	12,906,760

20周年拠金収支決算報告書

(昭和58年10月25日)

収入の部	
20周年拠金	4,117,000
支出の部	
20周年拠出金	2,000,000
20年誌増冊印刷費	1,850,000
剰余金	267,000
支出合計	4,117,000

沼津工業高等専門学校同窓会会則改定

現行会則	改正案
第八章 会計 第14条 本会の正会員は終身会費を納入するものとする。 終身会費 10,000円	15,000円 附則6 この改正会則は、昭和59年3月1日から施行する。

会則改定に伴う移行措置案

昭和58年4月以前に会員になった者は、昭和59年2月29日迄に改正前の終身会費を全額納入する。

昭和59年3月1日以降に納入する者は、改正後の終身会費を全額納入する。

監査報告

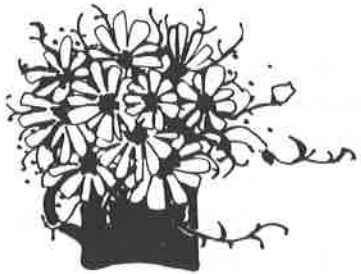
厳正なる監査の結果、会計帳簿は正確かつ明確に記帳されており、収入・支出とも適正で、昭和56年度、57年度収支決算報告書及び貸借対照表の記載に相違ないことを認めます。

昭和58年11月5日

監事 鈴木恒男(E1)
名倉光雄(M4)

新三役紹介

会長	柘植宗康 (M-3)
	大東製機(株)
副会長	久保田悦郎 (M-15)
	国産電機(株)
事務長	工藤勝次 (C-9)
	明電リフトウェア(株)
補佐	坂井徳尚 (M-6)
監事	仁科和晴 (M-2)
	近藤博明 (M-8)



新三役あいさつ

柘植宗康 (M3)

このたび、同窓会会長を引受けることになりました。同窓会の仕事の経験は短いのですが、他の役員、理事の方々と力を合せて2年間がんばりたいと思います。よろしく願いいたします。

久保田悦郎 (M15)

卒業して早3年、月日のたつのは早いものですが、同窓会副会長という大役がこんなに早く回って来るとは思ってもいませんでした。

今まで同窓会には無関心で、住所連絡の葉書も一度も出さなかった罰だと思っています。

同窓会員としてはまだまだ若い方なので力不足な面も多いと思いますが、諸先輩方が築き上げた沼津高専同窓会をより良いものにする為精一杯やって行こうと思います。

『同窓会の将来は明るい』

工藤勝次 (C9)

同窓会館を早く建てたい それがかねてからの私の願いです。現在ではほとんどの伝統のある学校には同窓会館というものがあります。母校へ遊びに行った時、自分の居場所がないなんて寂しいではありませんか。同窓会が設立されてもう20年近く経つというのにいまだにあの寮食で総会を行なっている状況です。あと20年いや、10年もすればOBの皆様は社会的地位もでき、同窓会の資金作りに大きく協力できるようになっていると信じています。もちろん、私もそうならなければいけないと思っています。同窓会としても、同窓会館の設立を目指して地道に努力していきます。

誇り高き沼津高専のOBとして皆様の御活躍を期待します。同窓会の事務長は雑用係だと聞かされております。金勘定や事務処理など全くわかっていない私ですが、その雑用とい

うものをうまくこなして、同窓会活動をより充実させたいと思っております。会員数も年々増え、既に2500人を突破しています。私のように軟弱な会員でも同窓会活動に参加することにより、オレには力強い仲間がいるんだと自信が付き、同じ学校を出たということだけで話題も豊富ですばらしい先輩に接触することが出来ます。又つき合いの深い学友、或いは賢い後輩達も私にとって大きな価値のあるものです。そのようなことから私は同窓会を大切にしたいと思っておりますし、皆様にもこの効果的な組織を活用して頂きたい。

皆様の母校は名門校です。(卒業することは大変だけど、入学することも並大抵の苦勞では出来ません。最近沼津高専を進学校だと思っている人が居ることにやや疑問はありますが…)ですから同窓会だってこんなにしっかりしているんです。

(ちなみに同窓会活動に非協力的だった私は、時たま届く郵便物になつかしさを覚えると共によくやるわと感心していました。)今はその苦勞を充分わかっている為当時の理事の皆様及び協力して下さいました皆様、同窓会をここまで成長させて下さったことに感謝し、それを引き継ぐことに誇りを感じております。



母校創立20周年記念

「同窓会名簿」ならびに「沼津工業高等専門学校二十年史」

の販売のお知らせ!!

ただいま、同窓会名簿(最新版)を販売しております。

希望者は同封の替振用紙にて注文して下さい。

尚あわせて、非常に好評ををくしている20周年記念の「20周年史」も注文を受け付けております。

※同窓会名簿・B 5版190P..... ¥3.000 (郵送料込)

※沼津工業高等専門学校二十年史・B 5版393P.... ¥5.000 (郵送料込)

数量に限りがございます。お早めにお申込下さい。



東京支部紹介

昭和58年7月3日如水会館(千代田区)において盛大に発足式が開かれ、めでたく東京支部が発足致しました。

支部長 浜田健明君 (M1)

副支部長 高野哲夫君 (M2)

事務長 塩川修治君 (M3)

常務理事として

鈴木信明 (M1)、伊藤 豊 (E1)

小出富夫 (E2)、原 野多 (E3)

小野 優 (C1)

の各氏が万場一致で選出され、支部の活動が始まりました。

関東、甲信越、東北、北海道地域の広い範囲をカバーしております。

上記地区に居住、勤務している卒業生諸君、ふるって入会を要請します。

入会連絡先

東京都港区虎門 1-23-7 オ23森ビル

塩川内外特許事務所内

沼津高専東京支部事務局 TEL 03-591-6031